



Toho University

東邦大学における ディスカバリーサービスの導入・検討状況

大学図書館問題研究会
第43回 全国大会(京都)

東邦大学医学メディアセンター
児玉 潤



導入経緯と課題

- メディアセンターの組織目標：非来館型図書館サービスの構築
- 非来館型図書館サービスを推進させるうえでの課題
 - 所蔵情報だけでなく、所蔵しない情報もあわせて提供すること
 - 電子資料ごとに異なる多様なプラットフォームによる利用者の混乱を軽減させること
- 医歯薬看護という主題でのディスカバリーサービスの課題
 - 最新の学術情報を重視する分野
 - 雑誌資料へのニーズが高い
 - 雑誌文献を探すための多機能なデータベースが発達している
 - 雑誌を中心とした資料の電子化が進んでいる
 - すでに多機能なデータベースが用意されている分野で、果たして有効か？



東邦大学におけるディスカバリーサービスへの期待

- 選択肢の追加
 - 既存データベースからの置き換えではない
- 特化したデータベースとの連携
 - とりあえず結果が返ってくる
 - 検索が0件で行き詰まってしまうことをなくす
 - 検索結果をより特化したデータベースでの検索に活かす
- 独自データベースの取り込み
 - 自作の「診療ガイドライン情報」も検索可能
- 検索対象項目の拡大
 - 書誌情報以外の情報(フルテキスト, 表紙, 裏表紙, 図表, 目次, 帯情報, 書評など)も検索対象にできる?
 - ノイズ対策は必要

